

## 平成29年度（4）若手教員研修に関する調査

種別	(4)-D勤務校における研修	対象	校長	校種番号	1小	2中	3高	4特
----	----------------	----	----	------	----	----	----	----

- ※ 回答はすべて、「回答シート(4)-D」に入力してください。（数字は全て半角で入力）
- ※ 設問1・2は、初任者がいる学校のみ回答してください。
- ※ 設問3・4は、若手教員（初任～3年次）について回答してください。

### 設問1 初任者研修の校内指導体制 (初任者がいる学校のみ回答)

初任者研修の校内指導体制を機能させるために、どのように配慮していますか。

特に配慮したことを二つ選んで、回答欄に番号を入力してください。

「7 その他」を選んだ場合は、その内容を具体的に書いてください。



- 1 指導教員の校務分掌等の負担軽減
- 2 週時程表への指導時間の明示
- 3 全教職員への初任者研修の計画と研修内容の周知
- 4 先輩教師の授業を自由に参観できる体制づくり
- 5 全教職員への直接指導（指導助言や初任者研修の資料提供等）の協力依頼
- 6 校内の「初任者研修運営委員会」の設置
- 7 その他

### 設問2 初任者研修の時間の確保 (初任者がいる学校のみ回答)

週時程の中で初任者研修の指導時間を確保するために、どのような工夫をしていますか。重点的に取り組んだことを二つ選んで、回答欄に番号を入力してください。

「6 その他」を選んだ場合は、その内容を具体的に書いてください。



- 1 初任者の校務分掌を軽減
- 2 初任者研修の時間を優先して時間割を編成（初任者と指導教員の空き時間をそろえるなど）

- 3 初任者及び指導教員の時間割変更をできるだけしない
- 4 月予定や週案に初任者研修を明示
- 5 指導日に会議等の行事を設定しない
- 6 その他

### 設問3 若手教員（初任～3年次）の生徒指導や学級運営

若手教員の生徒指導や学級運営を充実させるために、どのように配慮していますか。

特に配慮したことを二つ選んで、回答欄に番号を入力してください。

「6 その他」を選んだ場合は、その内容を具体的に書いてください。



- 1 若手教員の実態やニーズ、相談に応じた学年主任や生徒指導主事等との連携による指導助言
- 2 スクールカウンセラーや心の教室相談員、養護教諭、特別支援教育担当教諭との連携による指導の推進
- 3 生徒指導委員会や就学指導委員会等へ出席させるなど、児童生徒に関する情報を共有する時間の設定
- 4 生徒指導に関する事例研究や児童生徒理解、人間関係づくりに関する研修の実施
- 5 若手教員が一人で問題を抱えこまずに相談できる雰囲気づくり
- 6 その他

#### 設問4 OJTの機能を生かした若手教員の育成

教員の大量退職、大量採用の時代を迎え、若手教員が年々増えている現状です。

若手教員を育てるために、校長としてまたは学校全体として、どのように取り組んでいますか。取り組んでいることを全て選んで、回答シートの該当番号欄に「1」を入力してください。

その他に、特に配慮していることがあれば、その内容を「10 その他」に具体的に書いてください。

(複数回答)

- 1 コミュニケーションを大切にし、同僚性、協働性によって若手教員を育てるように、明るく風通しがよい職場づくりに努めている。
- 2 若手教員一人一人に対して、個に応じた言葉かけや指導助言、精神的な心の支援等を行っている。
- 3 校務分掌や部活動等で、若手教員とベテラン教員の組合せを工夫するなど、日常的に、適宜指導や助言ができるよう協力体制を整えた。
- 4 年間行事等で、若手教員の資質や能力等の向上が図れる場を洗い出し、指導や助言の機会を逃さない工夫をした。
- 5 若手教員の育成に必要な研修内容の見直しを図った。  
(新学習指導要領の実施に向けた研修を含む)
- 6 全教職員で若手教員を育てるという意識を高めるため、共通理解の場をもった。
- 7 ベテラン教員や各主任、中堅教員の力を生かすために、若手教員に手本を見せたり、若手教員の言葉に耳を傾けたりするよう働きかけ、学校全体の活性化を図った。

8 若手教員に活躍の場を与えることで、成功体験や成就感を味わわせ、自信をもたせるようにした。

9 若手教員同士や、先輩教員を交えた座談会や懇談会等を実施し、若手教員の悩みや不安を聞く機会を設けた。

10 その他